

平成 28 年度第 1 回一関市総合教育会議

日 時 平成 28 年 5 月 30 日 (月)
15 時～16 時 30 分
場 所 議員全員協議会室

次 第

1 開 会

2 挨 拶

3 懇 談

- (1) 家庭教育を支援する取組について
- (2) 放課後の子ども対策について

4 閉 会

一関市教育に関する大綱

【基本目標】

学びを広げ、人と地域が共に育ち、一関の未来を創る

【基本方針】

- 1 生涯にわたる学びを応援し、まちづくりを担い、活躍する人づくりを進める
(縦軸の人づくり)
- 2 学校・家庭・地域の連携を深め、心豊かにたくましく生きる人づくりを進める
(横軸の人づくり)
- 3 郷土の歴史と文化を誇りにし、未来を創造する人づくりを進める
(時間軸の人づくり)

平成28年度第1回一関市総合教育会議 出席者名簿

職		氏名	備考
【構成員】			
市長		勝部 修	
教育委員会	委員長	鈴木 功	
	委員長職務代理者	菅原 良一郎	
	委員長職務代理者	小野寺 眞澄	
	委員	千葉 和夫	
	教育長	小菅 正晴	
【事務局等】			
市長公室	市長公室長	熊谷 雄紀	
	政策企画課長	佐藤 正幸	
	政策企画課主幹	藤島 修	
	政策企画課 政策企画係長	宍戸 勝幸	
まちづくり推進部	まちづくり推進部長	佐々木 裕子	
	いきがづくり課長	佐川 伸	
	いきがづくり課 課長補佐兼いきがづくり係長	佐藤 奈津子	
	スポーツ振興課 課長補佐兼スポーツ振興係長	蜂谷 敏志	
保健福祉部	子育て支援課 課長補佐兼児童家庭係長	千葉 寧	
教育部	教育部長	中川 文志	
	一関図書館長	小野寺 篤	
	次長兼学校教育課長	小野寺 孝	
	教育総務課長	佐藤 鉄也	
	文化財課長兼骨寺荘園室長	佐藤 武生	
	教育総務課 課長補佐兼庶務係長	黒井 直子	

家庭教育を支援する取組について

資料1

番号	H28 事業名	事業内容	予算額 (千円)	対象						担当課
				未就学児	小学生	中学生	高校生	保護者	地域	
1	教育振興運動実践活動補助金	子ども、親、学校(教師)、地域、行政の5者の連携により、多様な活動を推進し、子どもたちに生涯にわたって学び続ける意欲・態度を育成し、併せて大人自ら生涯学習機会となる住民運動として教育振興運動を推進する。	650	○	○	○	○	○	○	いきがいづくり課
2	母親クラブ活動費補助金	○母親クラブの活動費に対する補助 地域の子供の健全育成に資する活動を行う母親クラブに活動費を補助している。対象となる活動は以下のとおり。 ・親子及び世代間の交流活動及び文化活動 ・児童の養育に関する研修活動 ・児童の事故防止等に関する活動 ・その他児童の福祉の向上に寄与する活動	920	○	○				○	子育て支援課
3	「いちのせきの家庭教育10か条」作成事業	一関市生徒指導推進協議会の事業として平成27年度から実施。新入園児(私立含む)、新入児童の保護者向けにチラシを配付するとともに、幼稚園、こども園、小中学校及び関係機関各所にポスターを配付し、家庭教育の重要性について啓発を図る。	162	○	○	○			○	学校教育課
4	地域子育て支援拠点事業費	○子育て支援センター事業(直営) ・子育てや子どもの発達に関する相談から、子ども一人ひとりに応じた適切な支援をコーディネートする。 ・子育て相談、発達支援相談、発達支援教室の開催、親子の交流の場(ふれあいひろば)の提供、地域子育て親子教室(出張ひろば)の実施など、多岐にわたる子育て支援を行う。 ○おやこ広場事業(委託) ・乳幼児を持つ親とその子供が気軽に集い、語り合い、交流する場の提供を行う。 ・育児不安等についての相談指導や子育て親子の交流の場を提供し、子育て支援や情報提供等を行う。	15,081	○					○	子育て支援課
5	子育てサロン事業費	○子育てサロン事業(委託) ・未就学児を子にもつ親たちが、身近な場所で互いに悩みや不安などを気軽に相談したり、話し合ったりする場や、仲間づくりの場を創造する。子育て支援サークルの活動費補助及び運営サポート。	655	○					○	子育て支援課
6	特別支援教育推進事業(特別支援コーディネーターの配置)	特別支援教育体制の機能を高め、学校、家庭、専門家をコーディネートし、特別な支援を必要とする子どもの教育支援を実施する。	4,043		○	○			○	学校教育課
7	市民センター事業費(少年教育)	市民センターにおいて小学生及び中高校生を対象に、地域の特性に応じ、郷土の歴史に関する学習や健全育成に資する事業などを行う。	1,946		○	○	○			いきがいづくり課
8	青少年健全育成事業費	県主催のいわて希望塾事業及び子どもの森事業への参加支援。	118		○	○	○			いきがいづくり課
9	社会教育団体活動費補助金	市の社会教育振興上、重要な役割を果たしている社会教育団体(一関市PTA連合会、川崎町子ども会育成会連合会)への支援を行う。	252		○	○			○	いきがいづくり課
10	市民センター事業費(家庭教育)	市民センターにおいて家庭教育力を高めるため重点事業として取り組む。児童・生徒の父兄等を対象に家庭教育に関する講演会及び研修会などを開催する。	852						○	いきがいづくり課

番号	事業名	事業内容	予算額 (千円)	対象						担当課
				未就学児	小学生	中学生	高校生	保護者	地域	
11	子育て支援(家庭教育)出前講座	学校等の研修会や講座に参加できない保護者を対象に、企業等に向いて家庭教育に関する研修・講座を行い、子育て支援を行う。							○	いきがいづくり課
12	一関地方社会教育協議会10周年事業	家庭教育に関する講演会を社会教育関係職員及び一般住民を対象に開催する。	255						○	いきがいづくり課
13	市民センター職員及び生涯学習支援員等研修会	「子どもの成長と家庭教育」をテーマに研修会を開催し、市民センター職員等の資質の向上を図り、社会教育関係事業の充実を目指す。							○	いきがいづくり課
合計			24,934	5	7	6	3	9	5	

【市から保護者に対する働きかけ】 ※数値は、H27実績

- 幼稚園・保育園
園だより、連絡帳の活用、子育て相談・学習会の開催、個人面談(年1~2回)、家庭訪問(年1回)等
- 学校
まなびフェストの実施、子どもと保護者で長期休業明けの生活リズムチェック、教育講演会など
- 社会教育
家庭教育に関する学習機会の提供(市民センター)、教育振興運動の推進
- 図書館
年代別ブックリストの配布(健診時、幼稚園・保育園・小学校を通じ配布)
- 保健福祉
・乳幼児健診時、3~4か月児健診の離乳食指導時に指導(あいさつについて) 受診者750人/対象者778人
・9~10か月児相談時に指導(リーフレットを配布し、ほめ方について) 受診者777人/対象者815人
・1.6か月児健診時にあいさつの大切さを保健指導 受診者794人/対象者809人
・2.6か月児歯科健診時に「子どもの気持ちの受け止め方とほめ方について」指導 受診者771人/対象者785人
・3歳児健診時に「ことば遣い・会話のマナーについて」保健指導 受診者872人/対象者872人
・フェイスブックでの情報発信(1回)
・子育てひろば市内6地域で実施(503回延べ13,884人(6,477組))、子育てサークルへの支援(4団体6回)等

家庭と地域の教育力向上の推進 (一関市教育振興基本計画より)

1 家庭教育の充実

- ①関係機関との連携
②家庭の教育力向上に向けた取組

→

- ・事業名「家庭教育支援事業」
- ・事業概要:しつけやコミュニケーションづくり等家庭の教育力の向上を図るための家庭教育学級等の開催。

2 地域全体で子どもを育む環境づくり

- ①放課後子ども教室事業の推進

→

- ・事業名「放課後子ども教室事業」
- ・事業概要:放課後の子どもたちの安全・安心な居場所づくりと地域の方々の参画を得た活動の展開。

- ②学校支援地域本部事業の推進

→

- ・事業名「学校支援地域本部事業」
- ・事業概要:学校の求めと地域の力のマッチングによる学校ボランティアの派遣。

- ③教育振興運動の推進

→

- ・事業名「教育振興運動推進事業」
- ・事業概要:地域の課題解決に向けた子ども、家庭、学校、地域、行政の5者の相互連携の推進。

放課後の子ども対策について

一関市子ども健全育成プランについて

◆基本理念

地域全体で子どもを見守るまちづくり

◆基本目標

- ① 安心・安全な居場所づくりを推進します。
- ② 学び・遊び・体験・交流・生活の場を提供します。
- ③ 地域の教育力で子どもを育む環境づくりを目指します。

◆市のこれまでの取り組み

○放課後児童クラブ

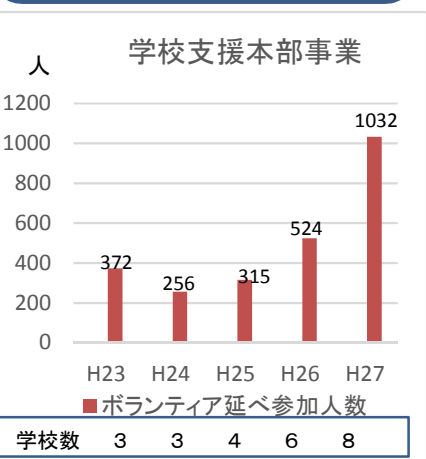
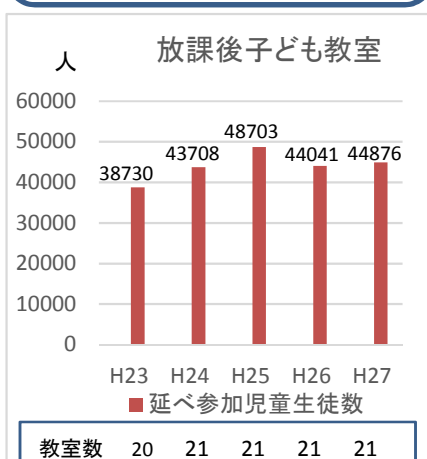
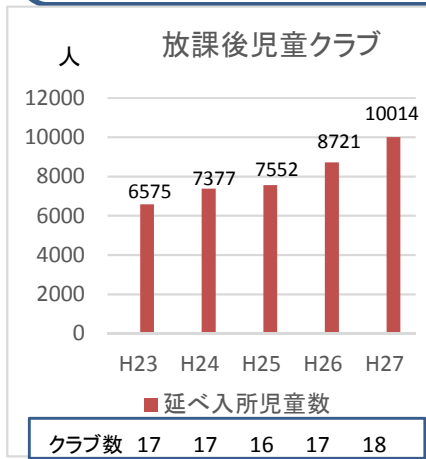
旧一関市：昭和63年からスタートし平成19年度からは、放課後子どもプランとして、放課後子ども教室推進事業と連携し実施。

○放課後子ども教室

平成16年度に地域子ども教室推進事業の取り組みを開始し、現在、市内33校のうち21か所で放課後子ども教室を設置している。

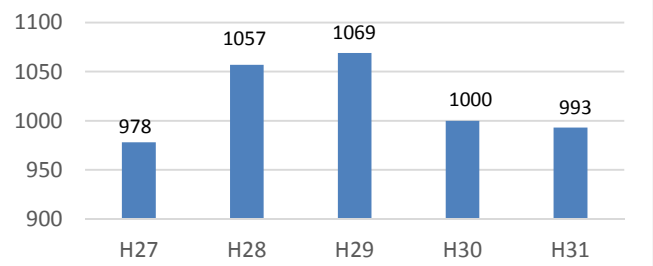
○学校支援地域本部事業

平成21年度より、学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制をつくり、地域が学校を支援することで地域の教育力の向上を図る。



◆今後の方針

○放課後児童クラブの平成31年度までの整備計画 (人/月平均)



○放課後子ども教室の平成31年度までの整備計画

今後の学校統合の動向を鑑みながら、未開設の小学校区への設置に向けて地域と協議する。

○一体型の放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の平成31年度までに達成されるべき目標事業量

現在の2か所から8か所（各地域1か所）以上で取り組むことを目指す。

○小学校の余裕教室等の活用に関する具体的な方策

放課後児童クラブでは、18か所のうち3か所が小学校施設を利用しており、放課後子ども教室では、22か所のうち8か所が小学校施設を利用している。

今後、少子化の進行に伴う児童数の減少により、余裕教室が発生する場合には、学校教育活動に支障のないよう配慮しながら活用を検討する。

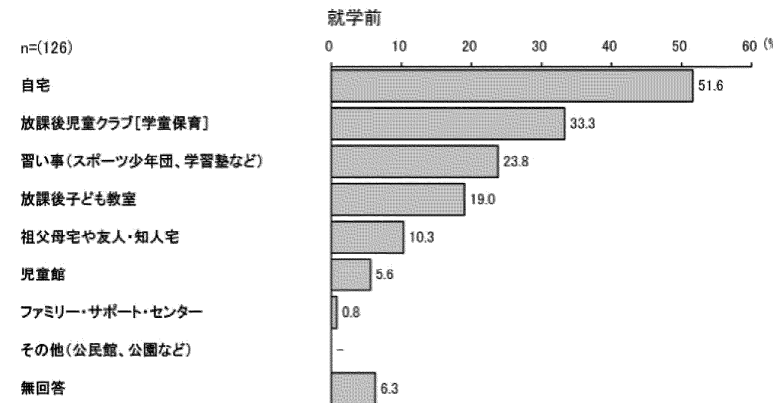
○地域の実情に応じた放課後児童クラブの開設時間の延長等

保護者の就業状況を考慮し、ニーズに合わせた開設時間の延長について、運営委員会等の実施主体と連携をとりながら検討を進める。

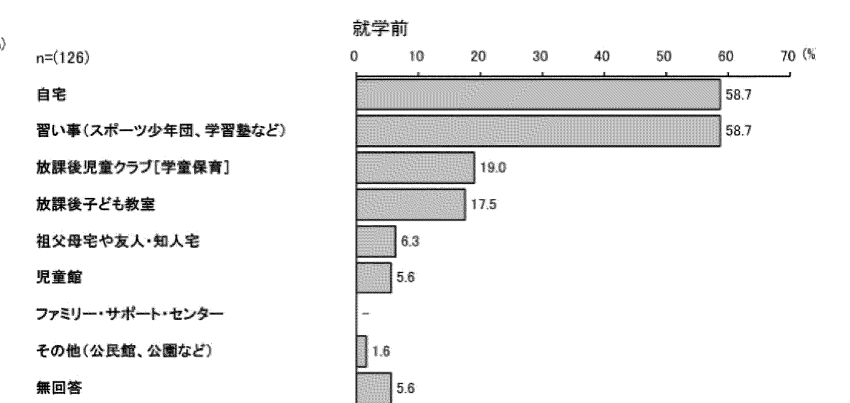
放課後の子どもたちの過ごし方について(一関市子ども・子育て支援事業計画より)

資料2

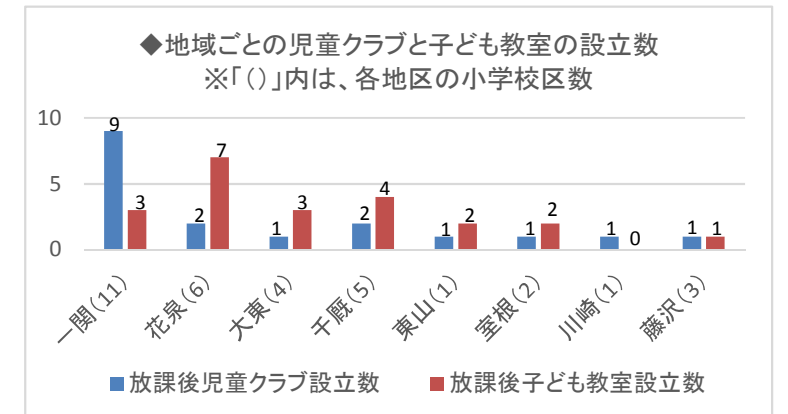
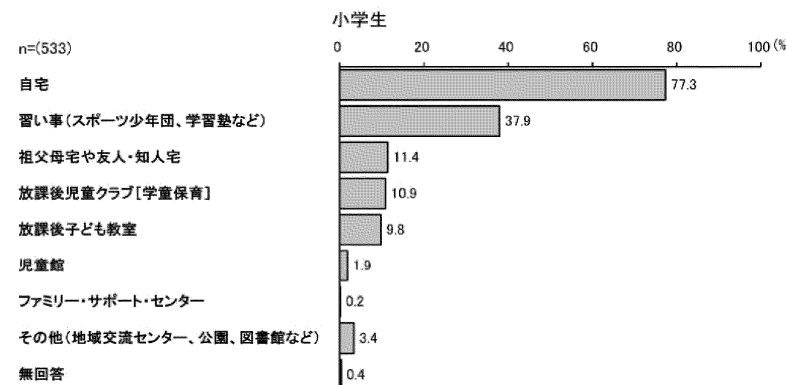
【小学校低学年で放課後過ごさせたい場所】



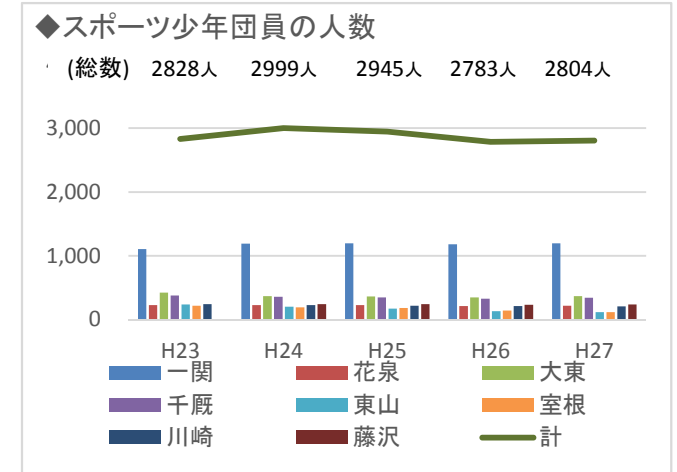
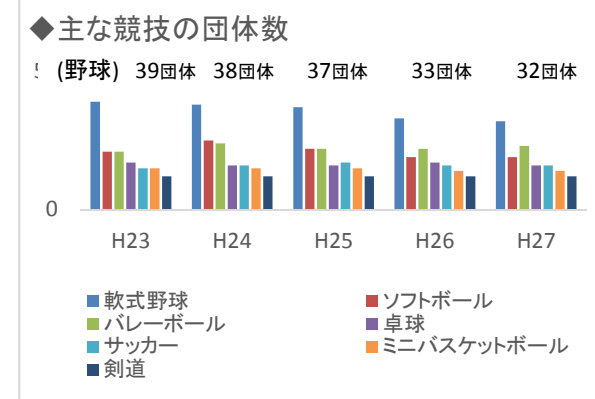
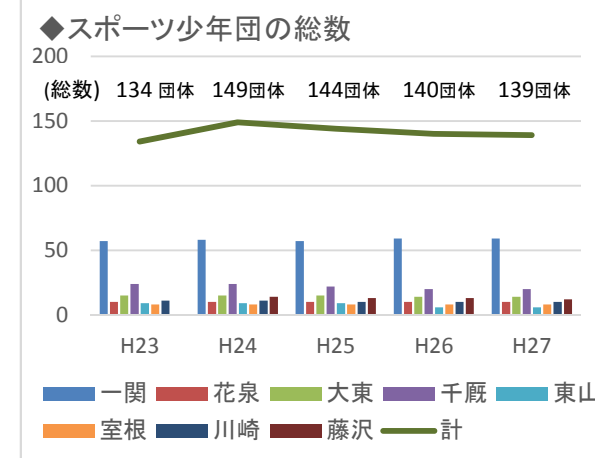
【小学校高学年で放課後過ごさせたい場所】



【放課後過ごしている場所】



スポーツ少年団の現状について



◆スポーツ少年団の課題

- 保護者の費用負担が大きい団体がある（遠征費、競技道具費、大会参加費など）
- 保護者が勝負に過熱しているケースがある
- 休日でも大会や練習の日が多く、中学生になると競技を辞める生徒がいる
- 少子化によりチーム構成が困難な団体がある

いちのせきの家庭教育10か条

第1条 命の大切さ

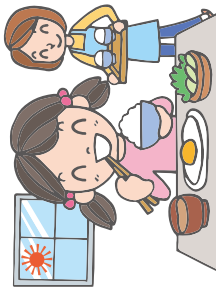
教えよう
かけがえのない
命の大切さ



自分の命とみんなの命を大切に
する子に育ちます。

第2条 健康

元気のもと
早寝、早起き、
朝ごはん



規則正しい生活リズムと食習慣
で、健康な子に育ちます。

第3条 あいさつ

笑顔であいさつ
家庭から



家族の間のあいさつで、進んで
あいさつする子に育ちます。

第4条 家族愛

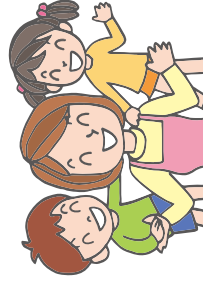
「大好きだよ！」
ことばと態度で
伝えよう



愛されていると感じると、心の
安定した子に育ちます。

第5条 感謝

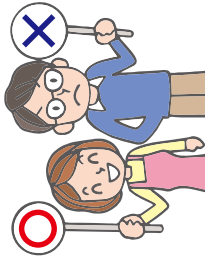
「ありがとう」
家族で交わす
感謝の心



誰もが笑顔になる魔法のことば
で心優しい子に育ちます。

第6条 善悪の判断

「ならぬことはならぬ」
やって善いこと
悪いこと



親の姿勢で、善悪の判断が
しっかりできる子に育ちます。

第7条 責任感

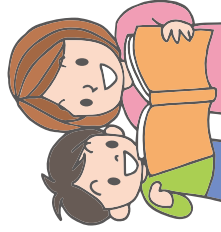
もたせよう
家での役割
責任感



毎日、お手伝いをするこ
とで、責任感のある子に育ちます。

第8条 感性

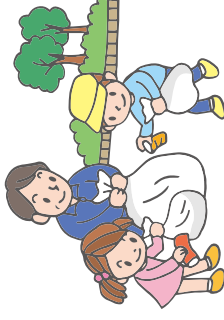
育てよう
親子で読書
豊かな心



ことばを学び、感性を磨き、心
の豊かな子に育ちます。

第9条 社会性

参加しよう
親子一緒に
地区活動



地区活動で、協力や奉仕の心を
もつ子に育ちます。

第10条 我が家の1か条

決めましょう。胸を張って、こ
れが我が家のルールです。

校訓

識己研能 己を識り 能を研く

学校の取組

- 各種学習調査結果・分析を保護者へ公表
- 「わかる授業」に向けた研修の充実

教育目標

知の研鑽（知）

「自ら求め 研学する生徒」

- 授業の内容がわかると答えた生徒の割合
：全教科80% (H27 2年数70%)
- 家庭学習に自立的に取り組む生徒の割合
：1時間以上70% (H27 2年35%)

- いじめ防止基本方針に基づき未然防止の取組強化
- 自治的な生徒会活動の支援
挨拶運動・合唱活動・黙働清掃

清澄な心（徳）

「自ら求め 心を耕す生徒」

- 「人の気持ちが分かる人間になりたい」と思っている生徒の割合
：100% (H27 100%)

- 体力向上や運動に親しむ環境づくり
- 継続的な健康教育・食育の推進
- 安全で安心な学校環境づくり

壮健な体（体）

「自ら求め 身体を鍛える生徒」

- 体力・運動能力調査の
A-C段階の生徒の割合
：80% (H27 79%)
- 肥満度が正常の範囲内の生徒の割合
：90% (H27 89%)

家庭・地域の取組

- 家庭学習時間の確保
平日2時間の努力目標
ノーマディアデーの取組
- 学習や進路についての
会話の促進

- 家事の協働の推進
家族に貢献できる役割を
- 挨拶の励行

- 規則正しい生活習慣
早寝・早起き・朝ごはん
- 健康や食についての
会話の促進

山目小学校まなびフェスト

知

よく学び、
よく考える子

徳

ゆたかな心で、
助け合う子

体

健康で、
ねばり強い子

学習内容の確実な定着を目指します。

各種学力検査で達成状況を把握して結果報告します。



あいさつができる子どもを育てます。

保護者アンケートの「あいさつ」の項目で、肯定的な回答80%以上をめざします。



基礎的な体力の向上を目指します。

新体力テストの「シャトルラン」測定を年2度実施し、1度目の記録より2回以上伸ばします。



読書にはげむ子どもを育てます。

年間読書目標冊数の達成児童の割合を80%以上にします。



「ありがとう」と言える子どもを育てます。

保護者アンケートの「ありがとう」の項目で、肯定的な回答80%以上をめざします。



一日の生活リズム作りに取り組みます。

保護者アンケートの「テレビやゲームの時間をうちの人と決めて守ります」の項目で、肯定的な回答70%以上をめざします。



新出漢字がきちんと書けるようにします。

学期末漢字テストの点数を80点以上にします。



子育てフェスト

ご家庭でのご協力をお願いします。

家庭学習の習慣づくり



「家庭学習のてびき」をもとに進んで学習する賢い子に育てましょう。

家庭内のあいさつ



率先してあいさつをし、あいさつができる明るい子に育てましょう。

早寝・早起き・朝ごはん



生活のリズムを整え、子どもの健やかな成長を促しましょう。

大東小学校の学びフェスト

学校教育目標

きこくを育んで、
まじりの歴史と文化をもち、
また室の高い里に誇りをもち、
明日への夢や希望に誇りをもち、
遅く挑む児童の育成をめざします。

かしこく：学び合う子

ゆたかに：助け合う子

たくましく
：鍛え合う子

- 良く聞き、考え、進んで自分の意見をはっきり話す。
- 読み、書き、計算の力を高め、あきらめないで勉強する。
- 基本となる学習習慣を身につけ、家庭学習や読書に取り組む。
- 明るいあいさつをし、仲良く助け合って生活する。
- 自然に親しみ、命あるものをいたわり大切にする。
- 協力して清掃や児童会活動に取り組む。
- 危険から身を守り、安全な生活を心がける。
- 仲良く遊び、健康な生活をする。
- 元気に活動し、明るい生活ができる。

学校教育目標や目標となる児童の姿に近づけるように次の項目を重点に取り組みます。

学校で取り組む重点

学び合う子

- ◎家庭学習に毎日取り組みます。
重点：◎ 基本的な学習内容の定着をめざします。
◎ 定期的に学習方法を指導します。
- ◎学校生活で工夫して読書や音読に取り組みます。
重点：◎ 学年の目標冊数に向かって取り組みます。
◎ 「読みかけの本がそばにある」環境を工夫します。
◎ 継続した音読の取り組みを工夫します。

助け合う子

- ◎朝を大切にしてください。
重点：◎ 1校時までの朝のリズムを大切にしてください。
◎ 課題に向かう子供達の朝学習を大切にします
◎ 歌声が響く学校の朝を大切にします。
- ◎人との関わりを大切にしてください。
重点：◎ 相手に伝わるあいさつができるようにします。
◎ 縦割班で協力して掃除ができるようにします。
◎ 集団での行動がスムーズにできるようにします。

鍛え合う子

- ◎安全な暮らし方ができるように取り組みます。
重点：金曜日は安全の日として取り組みます。
- ◎継続した体力づくりに取り組みます。
重点：継続して60運動に取り組みます。

ご家庭でのご指導をお願いします。

- ◎集中して家庭学習に取り組むことができるように
(テレビを見ないで家庭学習をする。)
- ◎家庭読書が習慣化できるように

- ◎生活のリズムを大切にできるように
「早寝・早起き・朝ご飯」
- ◎地域でも相手に伝わる「あいさつ」ができるように
「おはようございます」
「こんにちは」
「さようなら」

- ◎交通ルールや学校の決まりを守って安全な暮らしができるように
- ◎体力づくりをがんばるように

地域の方々の見守り・支援よろしくお願ひいたします。